

「令和3年度 函館市医療・介護連携多職種研修会」

医療関係者向け研修会（動画公開）【質問と回答】

テーマ： 「介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）」

講師： 医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所

管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様

質問と回答

①質問：薬剤師ですが、介護支援に関わる方々の負担がやはり非常に大きいように感じました。こちらでも関係者の負担軽減につながるような事があれば協力したいと常々思っております。薬剤師あるいは調剤薬局に対して実はこうしたことにもっと力を入れて欲しい、協力してもらえるとこちらも助かるなどといったことはありますでしょうか。

回答：処方された内服薬を決められた通りに服用できない原因として「量が多くて飲みづらい」といったことや、「この薬は自分にとって本当に必要なのか？」と疑問を抱いていたり「飲まなくても体調に変わりはないので、自分で判断して飲んだり飲まなかったりしている。」等様々あります。そのような場合、私達は受診時に主治医に相談するように伝えますが、主治医には言えないという方が大半です。ですので、そういう場合は、調剤薬局の薬剤師さんに相談すると代わりに主治医と相談してくださいますよとお伝えしています。きちんと服用できていない利用者については、私たちも月に一度残薬を確認したり、お薬カレンダーにセットする等様々な方法を試みていますが、もしも薬剤師さんにお問い合わせするとしたら、窓口で①薬をきちんと服用できているか ②服用できていない場合の原因はなにか ③確実に服用しなければならない薬はどれか ④飲み忘れた場合のデメリット 等を利用者やご家族に説明していただけるとありがたいと思います。残薬の増加防止や利用者の病状の悪化を防止できると思われます。

②質問：薬局との連携の際に困った事例、またその解決事例や今後薬局に望む対応がありましたら教えてください。

回答：特に困ったことはありません。逆に相談に乗ってくださって心強く思います。ただ、薬局とケアマネジャーが連携した事例は少ないのではないかと思います。最近の出来事としては、先日、担当している利用者さんが、飲み忘れた内服薬を捨てていることが判明しました（朝5袋、昼6袋、夕8袋）。病院に相談したところ、処方している調剤薬局に相談してほしいと言われたので、捨てられていた薬袋を全て調剤薬局に届けたところ、新たに処方される分との帳尻合わせをしてくださいました。とても速やかに対処してくださり大変助かりました。この利用者は訪問看護が週1回訪問しており、薬袋にマジックで日付を記入して1週間分ずつケースにセットしているのですが、確実に服用してもらうにはどのような方法がよいのか悩むところです。